

平成28年度 公共事業再評価調書

(区分) **国補**・県単

1. 再評価調書

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業(国補)] 街路事業 [緊急街路整備事業(国補)]		事業箇所	南都留郡富士河口湖町船津～勝山	地区名	(一)鳴沢富士河口湖線	事業主体	山梨県
	当初計画	現計画	今回見直し予定			⑤再評価時等の評価状況 「平成16年度事前評価」 この事業は、富士河口湖町の中心街を通過し国道に接続する狭い幹線道路のバイパスを整備するものであり、朝夕の渋滞解消や通学の小中学生等歩行者の安全を確保するとともに、合併後の新役場庁舎への利便性の向上を図るうえで必要な事業として実施を妥当とした。		
計画期間	H17年度～H23年度	H17年度～H28年度	H17年度～H31年度					
総事業費	2,500百万円	2,850百万円	—					
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
都市計画道路船津小海線（一般県道鳴沢富士河口湖線）は、富士河口湖町市街地から国道139号に接続する幹線道路であるが、勝山～小立地区内では朝夕を中心として交通渋滞が発生しており、また沿道に小中学校もあるが、歩道整備が十分でないため危険な状態である。 さらに、平成15年11月に町村合併が行われ、新役場庁舎が完成し、旧勝山村、旧足和田村から新役場庁舎へのアクセス道路の整備に対する要望が強い。 そうした中で、町中心地へのアクセス向上や道路利用者の安全性向上のために整備を行っている。								
②事業の概要								
計画延長：L=2,140m（街路事業1,400m、道路事業740m） W=6.0～6.5(14.5～16.0) m 道路幅員：車道6.0～6.5m(2車線) 歩道3.5m(両側)								
③現計画の全体計画（今回の再評価で変更する前の内容）								
	平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	平成29年度以降					
工事内容	測量調査設計 道路詳細設計 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事	なし					
事業費	2,750百万円	100百万円	0百万円					
④特記事項								
街路事業区間(1,400m)が、平成28年3月9日までに供用を開始している。								
(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)								
①地域・住民の意向状況								
平成28年3月に街路事業区間が供用されたことにより、勝山までの全線供用を望む声が一層強くなってきている。								
②産業・経済情勢								
街路事業区間にある小立土地区画整理が今秋に全面完成になる予定であり、本路線の必要性が高まっている。また、平成23年に開店した大型商業施設へのアクセス向上も期待される。								
③国等の方針変更								
なし								
④上位計画・関連事業計画等の変更								
「ダイナミックやまなし総合計画」（平成27年12月策定） 「山梨県強靱化計画」（平成27年12月策定） 「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」（平成27年12月策定）								
⑤自然環境条件等の変化								
なし								
⑥その他								
なし								
(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]								
<ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C（16年度） 便益（B）/費用（C）=1.40>1.0 再評価時計画における事業全体B/C（28年度） 便益（B）/費用（C）=1.23>1.0 								
（山梨県費用便益分析マニュアルより算出 採択基準値1.0以上）								

2. 再評価調書

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]						⑤今後の事業執行上の問題点 代替地の確保と買収価格の理解を得るのに時間を要することが考えられる。																																																					
①これまでの計画変更等の概要 用地取得の遅れから小立地内の整備に不測の日数を要したことにより、事業期間の見直しを行った。 (平成22年度変更内容) 完成年度 当初 平成23年度 → 変更 平成28年度 景観及び防災性向上のため電線共同溝 (L=1,400m) を整備することとし、事業費の見直しを行った。 (平成22年度変更内容) 総事業費 当初 25億円 → 変更 28.5億円						⑥今後の事業の進捗の見込み(計画期間について記載) 未買収用地については、富士河口湖町などの協力を得ながら、早期問題解決に努めるが、居住建物を移転する案件もあり、時間を要することから工期を3年延長し、平成31年度の完成を目指す。																																																					
②施工済みの事業内容 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度まで</th> <th>平成28年度 (評価実施年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事内容</td> <td>測量調査設計 道路詳細設計 用地補償 道路改良工事</td> <td>用地補償 道路改良工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,573百万円</td> <td>100百万円</td> </tr> </tbody> </table>							平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	工事内容	測量調査設計 道路詳細設計 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事	事業費	2,573百万円	100百万円	⑦事業計画の変更の見込み・可能性(総事業費について記載) なし																																												
	平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)																																																									
工事内容	測量調査設計 道路詳細設計 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事																																																									
事業費	2,573百万円	100百万円																																																									
③進捗率(現計画に対する実績) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>7.1</td> <td>19.6</td> <td>38.0</td> <td>48.2</td> <td>55.4</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>0.5</td> <td>8.1</td> <td>21.2</td> <td>34.6</td> <td>44.8</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>62.5</td> <td>69.6</td> <td>76.8</td> <td>83.9</td> <td>91.1</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>49.8</td> <td>60.6</td> <td>69.8</td> <td>81.8</td> <td>84.6</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>96.5</td> <td>100.0</td> <td>計画事業費/総事業費×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>90.3</td> <td>93.8</td> <td>実施事業費/総事業費×100</td> </tr> </tbody> </table> H28の実績は見込み							平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	計 画	7.1	19.6	38.0	48.2	55.4	実 績	0.5	8.1	21.2	34.6	44.8		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計 画	62.5	69.6	76.8	83.9	91.1	実 績	49.8	60.6	69.8	81.8	84.6		平成27年度	平成28年度	算出方法	計 画	96.5	100.0	計画事業費/総事業費×100	実 績	90.3	93.8	実施事業費/総事業費×100	(5) 評価項目 [環境への配慮] 土留ブロックや路側ブロックに自然石を配した景観ブロックを使用している。					
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度																																																						
計 画	7.1	19.6	38.0	48.2	55.4																																																						
実 績	0.5	8.1	21.2	34.6	44.8																																																						
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																						
計 画	62.5	69.6	76.8	83.9	91.1																																																						
実 績	49.8	60.6	69.8	81.8	84.6																																																						
	平成27年度	平成28年度	算出方法																																																								
計 画	96.5	100.0	計画事業費/総事業費×100																																																								
実 績	90.3	93.8	実施事業費/総事業費×100																																																								
④事業の進捗が順調でない理由 勝山地内に5件の用地が未買収で残っている。そのうち土地の境界が未確定となっている3件については、平成27年度末に解決の見通しがついたところである。他2件は、1件が代替地の選定に時間が掛かっており、残り1件は買収価格で折り合わず交渉が進んでいない状況である。						(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性] なし																																																					
(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続 その他 () (理由) 富士河口湖町の新町建設計画における重要な路線であることから、事業期間を3年間延長し、平成31年度の完成を目指す。						(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし																																																					

3. 添付資料シート（1）

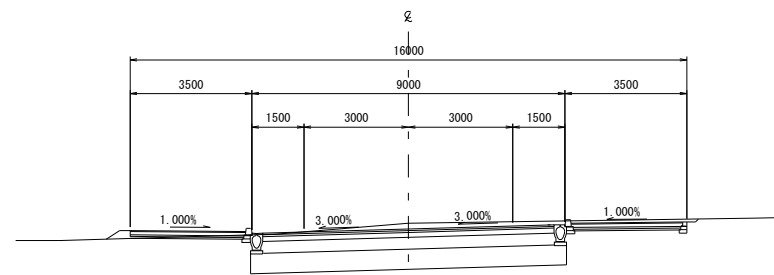
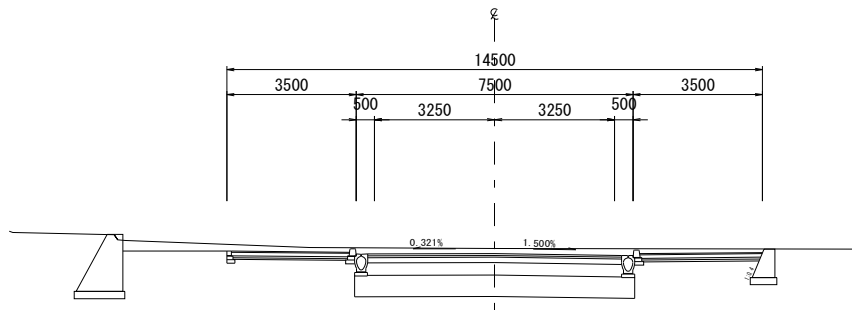
位置図



平面図



標準横断面図



H27まで	
H28施工	
H29以降	



①計画起点部 供用済



②供用済区間



③計画終点部



④現道

